

消防部

重点目標

- 1 消防団体制の充実・強化
- 2 市民への防火対策の推進及び応急手当の普及の促進
- 3 消防水利の充実・強化
- 4 上田広域消防本部体制の充実・強化の推進

平成26年度 重点目標管理シート

重点目標	消防団体制の充実・強化			部局名	消防部	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する				2014市長マニフェスト における位置付け	- 2 -	
現況・課題	消防団は消火活動や災害活動に従事するとともに、災害を減らすための予防活動に従事しており、住民が安全な生活を送るうえで欠かすことができない団体であり、地域防災の中心として大きな役割を果たしています。一方、少子高齢化の進展、社会情勢の変化等により、消防団員の減少、消防団員の高齢化など地域における防災力の低下が全国的に懸念される中、昨年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が交付されました。この法律において、消防団員の確保、処遇の改善、装備や教育訓練の充実について、国及び地方公共団体は必要な措置を講ずることが義務付けられました。上田市としても、積極的に取り組んでまいります。						
目的・効果	消防団への加入促進を積極的に行うとともに、消防団員の処遇改善等、消防団活動の充実強化のための施策に取り組むことにより、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を一層推進し、地域における防災体制の強化を目指します。						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
消防団活動の住民等への周知による消防団員の確保（消防団活動に対する広報及び周知を行い、住民及び事業所の理解を深め、団員数の確保を図ります。また団員の処遇改善についても研究してまいります。）	通年	・消防団員の定数確保（2,270人）	・消防団員数 4月4日現在 2,211人 9月30日現在 2,241人（30人増） ・市職員新規採用者研修において消防団活動に関する講義及び入団の勧誘を行いました。 ・「広報うえだ」で消防団活動を紹介し、住民の理解を求めるとともに入団をPRしました。 ・新入団員勧誘チラシを成人式で2,000部配布予定 ・消防団協力事業所認定の更新 48件	消防団員数 3月31日現在 2,244人（達成度99%） ・市職員新規採用者研修において消防団活動に関する講義及び入団の勧誘を行いました。（6人入団） ・「広報うえだ」（8回掲載）により消防団活動の紹介及び入団PRを実施しました。 ・新入団員勧誘チラシを1月11日の成人式で新成人全員に配布しました。 ・消防団協力事業所の新規認定4件、更新63件、認定事業所85件 ・1月の定期送達で自治会長宛に、入団勧誘の協力を依頼しました。			
消防団拠点施設及び消防団装備の充実	年度内	・詰所新築：2箇所 第15、武石西部 ・詰所新築実施設計：3箇所 丸子第1、丸子第2、本原 ・車両更新：5台 ポンプ車（1台）長 普通積載車（1台）傍陽 軽積載車（3台） 丸子第5、丸子第6、菅平 ・小型動力ポンプ更新：2台 丸子第3、傍陽	・消防団拠点施設の整備 詰所2箇所の新設工事 第15分団 6/26契約 12/25完成予定 武石西部 6/30契約 12/25完成予定 詰所新築実施設計 丸子第1分団・丸子第2分団 用地測量等委託業務中 本原分団 各種調整中 ・消防団車両の更新 ポンプ車 9/30契約 H27/2/27納車期限 普通積載車 6/19契約 H27/2/27納車期限 軽積載車 6/19契約 11/13納車予定 小型動力ポンプ 6/19契約 H27/1/27納入期限	消防団拠点施設の整備 ・詰所2箇所の新設工事 第15 竣工 12/16 武石西部 竣工 12/25 ・詰所新築実施設計 丸子第1 3/24完了 丸子第2 12/15完了 本原分団 平成28年度に変更 消防団車両の更新 ポンプ車（1台）長 2/26納車 普通積載車（1台）傍陽 12/16納車 軽積載車（3台）丸子第5、丸子第6、菅平 11/8納車 小型動力ポンプ（2台）丸子第3、傍陽 1/29納入 (達成度100%)			
女性消防団員に配慮した分団詰所整備	年度内	・女性用トイレの整備1箇所（第8分団）	・8/1契約 9/19竣工	・全詰所に女性トイレ整備完了（達成度100%）			
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 消防団は、「地域を災害から守る」という使命達成のため、自発的参加により組織されている団体であり、また地域からも信頼、支持されている団体であることから、関係団体等と協議しながら進めてまいります。		取組による効果・残された課題 ・消防団拠点施設整備については、実施計画に基づき計画的に整備を進めており、これにより地域防災力の向上が図られています。詰所新築は丸子第1分団、丸子第2分団及び本原分団の3か所を残すのみとなりました。平成27年度に丸子第1分団及び丸子第2分団、平成28年度に本原分団の詰所新築工事を進めてまいります。				

平成26年度 重点目標管理シート

重点目標	市民への防火対策の推進及び応急手当の普及促進			部局名	消防部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する				2014市長マニフェスト における位置付け	- 2 -	
現況・課題	平成25年中の上田市の火災件数は76件で、前年の50件と比べると26件(52%)の増加となりました。火災種別ごとにみても、建物、林野、車両、その他のすべてにおいて件数が増加しました。建物火災は、火災件数全体の約4割を占めており、住宅や事業所等の防火対策の啓発促進、また、たき火や火入れによる火災が毎年火災件数の多くを占めていることから、その危険性をあらためて市民に周知し、火災予防の啓発に努めるとともに、幼少年への防火教育を実施し、幼少期から防火意識の高揚を図ってまいります。また、平成25年中の火災による死者は3人で、いずれも65歳以上の高齢者であることから、高齢者への防火対策についても継続して推進してまいります。次に、公共施設、事業所及び教育施設では、AEDの配置が進んでおり応急手当のニーズは高まっています。また、傷病者の救命率及び予後の向上には市民による応急手当が必要であることから、応急手当の普及啓発については継続的に実施してまいります。						
目的・効果	市民・事業所等への防火対策の啓発を図るため、防火講習や各種訓練を実施することにより、火災予防への意識の高揚を図り、また、住宅防火については、高齢者を中心とした防火に対する指導を重点的に行うことにより、火災による死傷者や火災発生件数の減少を図り、火災から市民の安全を確保します。応急手当につきましては、正しい知識、技術を身につけることにより、傷病者の救命率及び予後の向上が期待できます。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
	市民・事業所への防火対策の推進 (1)高齢者への住宅防火対策の指導 (2)防火講習、各種訓練の開催 (3)事業所への立入検査の実施 (4)広報誌等の活用による周知	通年	(1)高齢者宅防火放火訪問：100件 (2)自治会・事業所等の防火講習等：180回 (3)立入検査：600件 (4)防火広報：10回	(1)高齢者宅防火訪問を秋季及び春季全国火災予防運動に併せ、実施予定 (2)自治会、事業所等への防火講習等を82回実施 (3)事業所への立入検査を370件実施 (4)広報誌等による防火広報を4回実施	(1)高齢者宅防火訪問を全国秋季及び春季火災予防運動に併せ実施153件（達成度153%） (2)自治会、事業所等への防火講習等を実施197回（達成度109%） (3)事業所への立入検査を実施599件（達成度99%） (4)広報誌等による防火広報を実施11回（達成度110%）		
	幼少年への防火・防災知識の普及	通年	幼少年対象の防火・防災教育：100回	・保育園、幼稚園及び小中学校の避難訓練、防災講習等を57回実施	・保育園、幼稚園及び小中学校の避難訓練、防災講習等を実施 114回（達成度114%）		
	市民に対する応急手当の普及促進 毎月1回の定期開催（上田地域広域連合）の他、各団体からの依頼による講習会の実施	年度内	普通救命講習及び上級救命講習の受講者数：1,400人	9月末現在、普通救命講習及び上級救命講習の受講者数は、929人である。進捗度 66.4%	・普通救命講習及び上級救命講習の受講者数は、1,459人（達成度104%）		
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 自分たちの地域、自分たちの事業所は、自分たちで守るという自助・共助の精神を啓発することにより、市民の災害対応能力が高められる。			取組による効果・残された課題 自分たちの地域、自分たちの事業所は、自分たちで守るという自助・共助の精神を普及啓発し、市民の防災意識の高揚及び災害対応能力を高めることができました。			

平成26年度 重点目標管理シート

重点目標	消防水利の充実・強化			部局名	消防部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する				2014市長マニフェスト における位置付け	- 2 -	
現況・課題	消火活動を実施するに当たり消防水利は必要不可欠な施設であり、計画的に設置し消防水利の充足を図る必要があります。防火水槽の総数は865基で、消防水利の基準に適合する40㎡以上の防火水槽は377基であり、全体の約44%であります。総数の内消防水利の基準に適合する40㎡以上の耐震性を有する防火水槽は、約10%に当たる90基であり、防火水槽の耐震化率を上昇させ震災に強い消防水利の充実・強化を図る必要があります。また、消防水利が不足している箇所へは消火栓を計画的に設置し、消防力の向上を図る必要があります。						
目的・効果	耐震性防火水槽は、震災時等の断水時にも消防用水を確保できることから、最も信頼できる消防水利であり災害に強いまちづくりに寄与します。また、消防水利が不足する箇所への消火栓の設置は、火災発生時の住民等による初期消火が可能であり、被害の拡大が防止できます。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
	耐震性防火水槽の設置	年度内	4基設置 【上田地域】 山口 国分 福田 【丸子地域】 上平	・4基すべて工事着手し、2基が完成しており、残り2基も完成検査待ちとなっています。 【上田地域】山口 7/28契約 工事中（完成検査待ち） 国分 6/6契約 工事中（完成検査待ち） 分去 6/6契約 9/19完成 【丸子地域】町組 6/6契約 9/24完成 進捗度 50%		・4基完成 【上田地域】山口 11/13完成 国分 10/6完成 分去 9/19完成 【丸子地域】町組 9/24完成 （達成度100%）	
	消火栓の新設	年度内	7基設置 【上田地域】 国分 下之条 諏訪形 中野 【丸子地域】 腰越 生田 東内	・今年度の計画どおり7基新設する予定で、すべて工事申込を済ませており、上田地域で2基、丸子地域で2基が完成しています。 【上田地域】国分8/29完成、下之条9/8完成、諏訪形工事中、中野工事中 【丸子地域】腰越7/25完成、生田6/24完成、東内工事中 進捗度 57%		・7基完成 【上田地域】諏訪形12/10完成 中野 12/15完成 【丸子地域】東内 12/24完成 （達成度100%）	
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			取組による効果・残された課題 ・耐震性防火水槽は、計画どおり設置できたことにより、地域の消防力の向上が図られました。 ・消火栓の新設により、水利の不足地域を解消し消防力の向上が図られました。			

平成26年度 重点目標管理シート

重点目標	上田広域消防本部体制の充実・強化の推進			部局名	消防部	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する				2014市長マニフェスト における位置付け	- 2 -	
現況・課題	上田地域広域連合消防本部では消防救急無線のデジタル化、高機能消防指令装置更新及び消防本部庁舎の耐震化、増改築の3大事業を進めています。無線のデジタル化は平成28年5月に移行期限を控えており、実施設計業務が24年度に完了し、25年度から整備に着手しています。高機能消防指令装置更新整備は27年度運用開始に向け、25年度に実施設計を終え、今年度更新整備する計画です。消防本部庁舎の耐震化、増改築につきましては、工事請負契約を平成25年度中に締結し、26年度は本格的に工事を進めてまいります。中でも消防救急無線デジタル化移行に必須となる新通信指令室、通信機材室を備えた増築棟の建設は早期の完成を目指してまいります。また、庁舎敷地外へ移転建設することとなりました訓練塔については年内の完成を目指し契約事務を進め、早期に各種消防訓練ができるよう整備してまいります。						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 消防救急無線のデジタル化については、電波の不感地帯の解消等により災害対応力が向上するとともに、県庁や県内の消防本部間がネットワーク化されるため広域的災害対応が可能となります。 高機能消防指令装置の更新整備については、現装置全般の耐用年数が超過していることから、消防本部庁舎耐震化、増改築及び消防救急無線のデジタル化に併せ全面更新し、災害対応に万全を期してまいります。 消防本部庁舎の耐震改修により防災拠点施設としての安全性が確保され、併せて増改築することにより、より円滑、迅速な災害対応が期待されます。 訓練施設の建設により、様々な災害を想定した訓練が可能となることから、近年の複雑多様化、大規模化する災害に対応するための高度な消防技術の訓練ができるとともに、消防団員を含め、各隊連携した総合訓練が可能となります。 						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
	消防救急無線のデジタル化に伴う施設整備 (1)共同整備分 (2)単独整備分	年度内	(1)部分竣工 (2)真田基地局の通信鉄塔及び無線局舎、上田基地局の無線局舎整備完了 平井基地局の無線局舎整備完了	(1)共同整備 各署工事完了。2月には、無線機器等の設置完了し、3月には仮運用開始予定 (2)単独整備 ア 真田基地局の通信鉄塔及び無線局舎、上田基地局の無線局舎整備 竣工予定 12/15 イ 平井基地局の無線局舎整備 竣工予定 2/27	(1)共同整備 無線機器等の27年度分を前倒し設置し、3月4日に仮運用を開始しました。 (2)単独整備 ア 真田基地局の通信鉄塔及び無線局舎、上田基地局の無線局舎整備 竣工 12/15 イ 平井基地局の無線局舎整備 竣工 2/27 (達成度100%)		
	高機能消防指令装置の更新整備	年度内	・更新整備完了	システム構築に伴う打合せを実施するとともに、一部機器製作が始まった。また、機器設置にあたり現地調査及び他工事との工程調整を実施している状況である。 竣工予定 3/24	更新整備完了 竣工 3/24 (達成度100%)		
	消防本部庁舎耐震化及び増改築工事	年度内	(1)通信指令室増築棟、無線アンテナ塔新設完成 (2)既存建物耐震化、改修工事の部分竣工 (3)耐震化に伴う車庫増築完成 (4)既存訓練塔解体完了	・11月中に通信指令室棟及び無線アンテナ塔新設完成予定 ・12月を目途に既存建物2,3階部分の一部使用開始及び、車庫南半分の使用開始に向けて工事を進めています。 ・既存訓練塔の解体工事は12月予定 ・工事中の安全管理に配慮するとともに、消防業務に支障が出ないよう関係機関と調整しながら工事を進めています。	(1)11月下旬に通信指令室増築棟及び無線アンテナ塔が完成しました。(達成度100%) (2)2,3階の工事はほぼ完了し、消防本部の業務を再開しました。(達成度100%) (3)既存車庫内の耐震壁設置工事については、今年度分は完了しました。引続き事業を継続します。(達成度100%) (4)12月中旬に既存訓練塔の解体作業が完了しました。(達成度100%)		
	訓練塔建設及び訓練施設整備 (1)契約 (2)工事	(1) 6月 (2) 12月	(1)契約締結 (2)訓練塔建設、管理棟建設完了 外構工事完了	・9月末現在、訓練塔建設工事の請負契約に至っていない。 ・2度の一般競争入札を実施したが、入札参加者が2者に満たないため入札中止となっている。 ・10月1日から一般競争入札に限り、入札参加者が1者のみの場合でも中止せず入札を執行することに改正されたため、10月に再々度入札公告する。	(1)訓練塔建設工事 契約 平成26年11月10日 (2)訓練塔建設工事については、入札不成立の影響により年度内に事業を完了することができず、次年度へ繰越しとなりました。外構工事については、未契約（進捗率80%）		
	消防車両等資機材整備	年度内	・高規格救急車1台更新（東御署）	・計画した1台の契約を済ませています。 高規格救急自動車 5/23契約 1/31納車期限	高規格救急自動車 1/28納車 (達成度100%)		
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			取組による効果・残された課題 ・平成26年度は本格的に消防本部庁舎耐震化及び増改築工事が始まり、事業を推進することができました。平成27年10月末の完成に向けて、引続き消防業務に支障が出ないように関係者と調整を図りながら工事を進めてまいります。 ・訓練塔建設工事については、早期に完成するように事業を進めてまいります。			